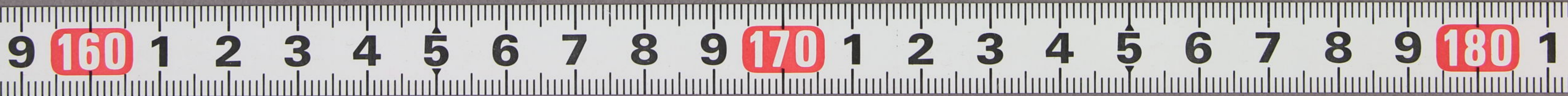


孔子家語卷五
 父政如
 子致如
 十同井
 十同井
 十同井

服部文庫
 117
 2145
 12





顔回

誣シイツケル

兩服ハシル

銜體ハシル

117
244

朝トキハル

然而シテ

咏ウタヒ

却カエ

游ユ

氣キ

轉換

柯海鳥カウカイ

不容魯コト

施セ

不知シラズ

豫ヨ

夫知其所不可由トモシ

斯コト

又マタ

救サツ

其死者シノヒタリ

鮮シヤク

姬メ

相愛アイハル

亞ア

弗能謂ス

不知シラズ

仁ニ

評論ヒヤク

宜有得於回トモシ

思オモフ

人ヒト

子路初見シロトニ

ソソ

豈ナラニ

可及カキ

益トク

不及カキ

樂ラク

惡アク

達トキ

于犀革シ

鑊カク

而シテ

礪シ

而シテ



親コトイニス以衆相陵ヲモウテカケテ

何不先自ツキ者刑ケル四罰ヲシテ

螻蛄ケラシ如應コトナラ之ヲ希カス米カ

若龍カウカク俸祿ヨウロク雪桃ユキトウ從上スミ雪下ユキノシタ

衾服マタキ比于ヒテ於紂コウ

親則シテ諸シ文ヲ官則カニ少師シウシ

冀身死之後コトエシ紂將悔悟コウカニスル可謂ツケル捐ヲ

駟ウマ致膳ツク大夫ヲ請謁ツク

優ユウ游ユウ相馬サウバ以ニ車ヲ也シ

失之シテ寧ニ予ヲ畏人コウカニスル勿カ息ヲ及カ

行已コトナス在厄ハク

慷慨カウカク講コウ誦ソウ絃ケン歌カ不カ衰シ

人弗コトナ五ノ口ヲ信ス我ハ人ノ多クイニシテ也シ

曹衛ソウエイ思シ不カ老シ也シ

志シ不カ庶シ醜カクハク也シ

不必カ能ク穢ス穢カク不カ止ス也シ

然後カ見ル君ノ子ヲ也シ

爾多ニ財ヲ埃カク里ノ也シ

自井コトナ伊ノ也シ

啓キ祐ソウ我ガ非カ待テ今ノ日ヲ也シ

友罪トモノツミ友ノカヒヨウハニシテイユエシ

爲無カ懼シ無カ驕シ也シ

援ケン戚セキ也シ

彈ダン劔ケン也シ

眞マコト墜ツキ也シ

無カ累シ身ヲ也シ

猶ナド土ツチ也シ

出デ世ニ也シ

無カ其ノ竟シ也シ

無カ其ノ竟シ也シ

親コトイニス以衆相陵ヲモウテカレ

何不先自表刑罰ケルシテギツ

螻蛄ケラシ如應之コトヲララフル

若龍ヨウリウ侍祿カス

雪桃ユキトウ從上シヨウ雲下ウンゲ

親則諸シヤク文ブキ比于於紂ヒトシヤク

翼身死之後コトエシトシ官則少師クニシヤク

習其シヤク情ニシテ與ヨシ君キミ子コ焉ニメメレレバ

治民チミン嚴コトカウテ

引ヒキ菰コ前マエ旒ヒラ

結ムス沈シヅ衣イ身ミ至キ察サツ則スレバ徒タダ

索ソク文ブン虛コト其ノ内ノ無ク心ヲ

於オ妻メ子コ困クニ折セ言ハシ

自ミ切キ其ノ廣ク填ミ如シ

察サツ其ノ徒タダ則スレバ隔ヘ如シ

洋ヨウ珍チン寶ホウ泉セン鎗カウ

舟フネ車クルマ命イハレ駕カ

脰シヤク不シ汝ニ欺カ

國クニ士シ之ノ力チカラ

友トモ罪ツミ無ク懼ク

援タモク戚セキ

眞マコト隆トウ

無ク累ヒ身ミ

猶ナド土ツチ

出デ世セ

無ク其ノ竟マシ

無ク其ノ竟マシ

無ク其ノ竟マシ

無ク其ノ竟マシ

無ク其ノ竟マシ

識緯 シイハイリノミクサノヨラナモノ
取法 テトクハハト云ハリト云ヨラナ
改號 シヨウモリ
更 シヨウモリ
而諸說 シヨウモリ

死而配五行 五行ノ神トイウシヨクニ
皆出 東カラハジレシ

轉相承 シヨクニシヨクニ
木正 シヨクニシヨクニ

佐成上帝 五行ハタスケテ天
屬配 イヨシヨクニツウテ

所以相變 イヨシヨクニツウテ
德次 イヨシヨクニツウテ

在木宗而尚赤 所以同
德次 イヨシヨクニツウテ

戎事 軍ノコト
辟士 志者之尚者

獨 將有限年
無敢益者 易代奉之代ニツリヌスル

非徒五而配 五帝
執 執

銜 銜
君者人 君者人

總策 總策
掌王 掌王

愛 愛
詔 詔

制 制
其盛無偶 其盛無偶

威 威
祝 祝

祝 祝
祝 祝

莖策

不制也ヤ可シ必スキウトセイニツカレンシ
必流水流ノヨウニリサリスルシ 以其リノワケヲケテ

莫不吁嗟ナゲカニモノハナイ

所以成聖人ノ天ノ天ノ下ノ治ニニリ

聖人之道非不立立非不立立

駉馬カノメツナチカニイワイツケルシ

以法カニ文ニ貳ニ

回旋カニ急ニ疾ニ

子法王設非

之德馬ヲキヨスルト文ノ聖ノ

亂カニ節ノ失官ノ

賢能ヤクニキモノ失官チクニイ

度量カニ不審

同是車馬車馬カレノモ

同是官法目付ハ目付

考德タレトカアルト考ル

能德ヨククフツ徳ヲシ法ヲ守ル

商周易之

奇偶陽ノ陰ト也

此人莫知其情ウミツキノモノヅキ

天一地二人三ツクノハシメニヨウテ

從奇數陽ハイニチカヌルニ十二ヲ

七十二從奇ノ

奇主辰ナニヲトクトル

辰偶以奇

辰辰數

月三之斗

五五音音

日ハナ之時數ハ

端緒一ツク
饋食 和タクイモ

間外之非儀

子好成 ヒトリニテモヤシイ
可驗 ル

遊危シラス 淫僻ヨコシ

先貧賤 モラウタヤブンビンボウ
シニ上カヨリナウモサラシ
婚姻文始也 又イヤカラモラサトス文
始レ始メヨモイナ

有譽下リアリツカカ思

思掩義 ヨニテ義ヲヒカクス

期而練 子ウタキモノタキル
首衰不神 キレテモツクロワニ

齊衰期者 ハタラキノ服

面垢而已 ユモツカワシ

權制者也

懈 コシカケテ

不怠

衣之變 ハダシ

因殺

制可

論禮第二十七

無不遍 ナニモクオキワタラシ

謂之給 タス

捷給之人 カシウコク用ヲタス

給奪慈 シアニスル仁ノカヲダイ
ナシニスル

領惡 ハノイヤガルワルイヲデモスジミナラ
テテヨクニテイク

仁鬼神 愛スル及テ物ヲソナハシム

饋 カニイノツキカ相テン

饋 カニイノツキカ相テン

義 ワケ

以之 ハカタクアゲテ用テイテ

戎事 采ナレシ

得其象 礼ノカタクシツニラニカタキ

物得テ時 物イモクニヨリ

其軾 サシ 軾 サシ 軾 サシ

喪紀 シメクニリシ

其體 テイカニニウテハタラキカミシ

郵 其宜 ツラヨクイクシ

其 ツラ 其 ツラ 其 ツラ

俚 レ 平何所之

然 シ 室之中 ニウクラン中

無所制 カタカタカミ

租 トウドリニウテヲゼイヲヨセテツカシ

大 卿 食 有 也

嬰 カクキカケテアルユエカクト云

面 カハリ 篇 キヤノキジノハナラマテニウシ

知 仁 仁 カケハ仁ノヲカゲラウケルモ

振 路 路 カキヨク先ハタキカス

示 カク 示 カク 示 カク

示 カク 事 カタヲトウテスル武ノ舞ナラ

其 カク 内 カク 躬 カク

其 カク 系 カク 系 カク 系 カク

謂 カク 文 カク 偏 カク

又 カク 有 カク 在 カク 在 カク

禮 カク 儀 カク 儀 カク 儀 カク

人 カク 身 カク 名 カク 名 カク 名 カク

八 カク 夜 カク 基 カク 基 カク 命 カク

宥 カク 宥 カク 宥 カク 宥 カク

逮 カク 逮 カク 逮 カク 逮 カク

乃 カク 乃 カク 乃 カク 乃 カク

杖 カク 杖 カク 杖 カク 杖 カク

杖 カク 杖 カク 杖 カク 杖 カク

杖 カク 杖 カク 杖 カク 杖 カク

杖 カク 杖 カク 杖 カク 杖 カク

杖 カク 杖 カク 杖 カク 杖 カク

杖 カク 杖 カク 杖 カク 杖 カク

調恤 ニキハシアハレムシ

何謂其然 ドウメツキルハレヨウ

痛有五起 トクニヨウデク

乞求志 キコウシ

内恕孔悲 ウチニシウクハヒ

必從思 カナラシキニシム

純德 ジュンタク

私西後 シシキゴ

是祇 シキ

敢名志 ダンメイシ

後 ゴ

解 カク

今 イマ

一 イツ

色 シキ

觀射

以 イ

求飲 スウイン

如堵牆 ニドクキョウ

射 セ

與 ヨ

序 ジ

鄉 キョウ

者 シャ

三讓 サンニョウ

問 モン

其 キ

威儀 イイ

禮 レイ

節 セツ

刑不刑 ヲトシテ立テ五テ尺七刑ハ用イニシ

傷義以

敗俗

刑制也例成也

石罰麗於事 サハクノシタラフヨクヤニテ

不以其心 役人ノ心

假他

於不得作威作福 テキニ

不救之者 ハテツクイハル

原父子之情 ヲカス

立君臣之義 一カニニルメト云シ

意倫極矣 コトデイト思ニモシレテイ

悉其聰明 テモキクシ

正其忠愛以考之

三訊

有指無筒 ルニコトガナイノハコレハコシ

則不聽 ニモサシキカシ

附從輕 ホシクモシタカレイヒアブリノ

赦從重 カアルシ

於朝 ニシテ

弗及與政 フレヲ一ニキカセシ

又無職錄 スライホトシヤラン

外朝法 ハクニシ

面三槐 ニシテ

以聽命 コトニシテ

曰不議 キガツカシ

曰是失 アマミチブホウ

所以重之 ニシテ

破律 法律トナギ

道名 イ、名ヲメツラシイヨヲニ名ヲ

左及 キントウノ左ニクイキウテイ

若聚鷄冠 イト云々ワキレ

瓊弁也 石術勤ノ子張ナ

眩曜人心 ハハスル

公輸般 人ノ母ノ死シタトヨスル

蓋 一ノカシヨノウエノガゼンノ堂ノヤマ

命 一ノイタハイタキモ

陽 ミルシテ

非後 一ノゴリヲスルモリテナヤ

所以厲敵 ハマニカウテクウ

以濟衆者 ヲゼイヲツダニス

孔 ツラニヤブ

而有記 ソノシテ

修睦 一ノハントカヨリヤウ

不 セト由ニテ

世及 一ノ弟ニ地ヲユツル

亂賊 ハハスル

由此而選 人ニエラバ

角 一ノ地

不 セト由ニテ

今之在位 在位ノ人

是天子之弟 般ノ弟

祝 一ノ

辭 一ノ

宗 一ノ

及 一ノ

謂 一ノ

及 一ノ

謂 一ノ

擬所君 君の依ニ事キヲモウテイル

以衰裳 神ノ衣ヲキテ 殿中ニ

入朝ノ登壇スルシ

齊齒 バイニントナラフバギヤテ

有表婚之ヲ 而名婦 未入朝

以礼 籍入 礼チカイテアル事

儻鬼神 トリアワカシ

刑肅 キビシイ

俗敝 旧俗カクヅレル

士者 ハタラカン

疵困 身誅ノアル困ニキツ

降社 社ヲキリテシテ

降山川 ノスリガス

殺 カキト

多 於天地 天地トヒトツニナリ

疑 於鬼神 ナラシヒトツニナリ

處 主所存 カラダヲクシ

既 其所示 ヲ目ニシ

君 以政

所以 立統 無五之地

人所 明多トフ

明人 別名

以自 顯 示

明 君以自治

去 于終

謂 文變

非 意之

明 君以自治

謂 文變

非 意之

善く事

七君を平る能く一ウレツキニテイル
修十義 人義

大欲存 身ニ存シテアル

大端 欲悪ニ由ル心ノワルイノ中
テ大イリウチコクギル

天地之徳 天也 神ノイ、徳ノ生レワ
キシイヌハミニサアウテモキコ

鬼神之命 鬼ハチカラカシ
神ハ口シクシキハタラ

天垂象 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

聖垂の旨 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

以時五行 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

身は勤者を端なり 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

十二宮 十二月ハ星ニ従

星は天ノ宮 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

陽律一の寸 三ノ寸、リニ至スル
千ニ至ツテ一合

獻 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

十二食 十二月ノクイモノ

星相の質 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

云々 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

相あり 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

天地之心 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

五蔵 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

被色 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

為端 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

為柄 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

為量 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

為徒 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

為器 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

人位 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

外義 天レテ人ニ見セラル
天ハヨウラモチコタヘテ

人所^レ操^レ治^ル 年ヲヒキヌリシ

日而^レ之^レ位^ニ象^ノ付 四^ノ方^ニスル^レ也

三^ノ賓 三^ノ光^ノ日^ノ星

物^ノ可^レ象^ス 天地ノ中ニアルユヘチリアツカイガデキルシ

性^ノ可^レ嗜^ス 人^ノ性^ノカシレルシ其^ノハコヲ男^ノハコヲトイニヨラテシレルシ

了^レ可^レ勤^ス ハタラク^レテガデキルシ

業^ノ量^ノ一^ノ月^ノ一^ノ日^ノ量^ノカアル^レエエ

有^レ藝^云キ^ニリ

飲^レ食^ル乃^レ用^ル キニガナイカシラガアル^レエ

不^レ徳^カ カクレルナミラカアル^レエカクレル^レトハデキニセニミラガク

詩^ノ文^ノ言^ノ内^也 二^ノ聲^ノツトメルシ

人^ノ性^ノ乃^レ中^ノ フテカス^レトキウ^レニイモヨラデカ^レラコ^レラフ^レシロト

兼^レ蓄^キ オニ^レラ^レガアルトセイ^レウ^レラウ^レシ

瘞^ノ繒^ノ 一^ノタ^ニシ^レキ^レハ^レシ

宣^ノ 祭^ノ冬^ノヨミ^テア^レル^レシ

謂^レ若^ク繒^ノ封^ノ也

播^ノ宣^ノ

埋^ノ性^ノ

列^ノ地^ノ利

禘^ノ祖^ノ廟 祭^ノハ^レ先^ノ世^ノナ^ラン^ノ大^ノ祭^リシ

王^ノ養^レ三^ノ老 天^ノ地^ノ人^ノ三^ノ大^ノヲ^レホ^シテ^レイル

中^ノ心^ノ子^ノ魚 ワ^カミ^ノキ^ヲカ^サニ^シ

以^テ守^レ至^レ正 ニ^テク^レ正^シイ^テ左^ヲ守^テイル

愛^ノ職 山^ノ神^ノハ^レ山^ヲセ^ルヤ^キ

百^ノ化^ノ莫^ク可^レ極 一^ノニ^ハル^レヨ^ラニ^テル^レシ

正^ノ法^ノ則 カ^サカ^サシ

義^ノ之^レ修 美^ノテ^レカ^タラ^レ立^トノ^レキ

礼^ノ之^レ成 礼^ノカ^コモ^ウテ^レイル^レシ

轉^レウ^ツリ^カル 列^ノノ^レ立^テ五^ノ行^ノ

職^ノ於^テ天 天^ノノ^レハ^タラ^キヲ^カメ^ニト^ウテ^スル^レシ

六合是式 天地四方ノカタヲ立ル

公冠 スゴハ 介 カホミエカイソエガシ

饗食之 饗礼ノレト同シ

朝服素鞞 素鞞

剛幣 アイサツニヒキテモノヲヤルシ

其礼也 士ノ禮也

其綈也 ルカガリノ

夏收一也 白ハニシロイ

皮弁素績 ヒタヲシメ

廟制 才三十尺

公子野之 野ノ

而以野 野ノ

尊卑上下

一壇一墀 ツクニニツケルヲキケイニタキ

王 白王老廟

顯老廟 祖老

老廟

其祀也 イコエルトヨミ

祀之言起 タチヨエル

去祀為壇 廟ヲヤメテタニテ祭ル

壇禘有禘祭之 イハルヲキケルハタニツラニ

祀當遷者 文武ノ廟カテニ

皆有七廟之文

謂始王者 始メテ天子ニウタモノハ天

四代 帝舜殷周

郊真 郊ノ

其真也 カガリ

其實也 文王ノ明堂ニウタモノハ天

應為太祖
不復太祖

雖禘郊禘郊ノニツリヲ
スルト雖ドモ

祖契

考祖父也

可以不毀コボツテハテキニシ

於邵公トリアツカウシ

可以不為クワトハツニハイラヒシ

禘禘禘

可以不為クワトハツニハイラヒシ

習之教ウケウジユツ

有望遠眺ウカハイ高クミテ何か
カニガエル

瞻之如也ツツケテ天ノハツレモキヲ
スレバ方ヲモツヲ

教伐之域レカコイノウキシ

溫之柔ユウノヒヤクニ
イテイル

元原微末ホソクナル

中正之感チンシイキヨウドイ
子イロシ

不心之也ホソクナル

可以其身チヤホガメチカスシ
ソノ同族ニ民ノ財宝ヲコサイル

其之廢也タチニキハヤシ

合和知ノ及ヲ以テ

不心之也チンシイキヨウドイ
ミラセスルカロウ

備戒ヒキマツケル

得其象武王が紂王ヲウケテヤセ
若ガ武王ニイヨクナツクモヲキヲ

款淫滋味ツツケテミル
モノホシソウニ

及時事ウケトクニ

軒瓦ウケアゲテ右ヲツイテイル
紂ヲ代ユエヲチキツクハナシ

及為ドウヨクノチヨウシキガデニ
ホシガルヨウナドウヨクノチ
云モノダ

告之傳ガクノチテテハ何テモ
ニチガウトニテテテテテテ
傳授スルニテテテテテ

轉チン
南ハテ心ヲホウカリサセル

武王之志荒 日ウモウノタシ

發揚蹈厲志 リキニシテ フムシ ヤリヤシ

武亂 フクニ サシヨラニ ハロ ササタ

始成北出 ニテ キリニ ニテ ニウシ エラス

崇 セイン

舞之 キリ 解

衆夾振之

曰代

不道曰代

分卿而進 ニ行 ナラニ テサウ

於部曲

及高之攻 ニラ イ 政 ニ ヒ ウ ク ル カ ニ テ

使人行高 イ ニ ノ オ イ イ カ カ ア

容之舊

濟河西 岐 山 ハ 西 シ 東 カ ラ 唱 ル シ

車甲 ニ ウ ギ ノ カ タ ノ 軍 ガ ス ニ テ メ

倒載 車 ニ サ カ サ ニ セ ル シ

韃處景 カ キ テ 上 ヲ ヲ 田 ス シ

修郊射 礼 子 ヲ 教 エ ル タ メ ニ 射 礼 ヲ

以狸首

以駒虞

裨冕

播笏勿シヤルシ

執將 天子 ハ 千 歩 ヲ 諸 侯 ハ 百 有 之

温潤而澤 カ リ ノ アル

緝密以栗 イ カ ク イ ノ 人 ノ 智 ハ モ ニ カ

垂之如隊 子 カ ス テ ア ル シ

清越而長

瑕不掩瑜 カ ラ ト キ ガ ウ テ モ 人 モ

孚子尹 乙 ノ キ レ イ 色 シ 字 達 信

竹ノアニカワシ

物キバウメ白虹ニシタ天モレハカシ
精神キウスアセ川キカ立シ
玉ニル山ヤリ川シ

地川地メン珠珪ヲマフニシタシ

壁玉琮ノモヲマブレニシタノシスルシ

不有須而成ソハモラニウテヘテスルシ

合心君子疏通知表書ヲ

廣博易良易易也

潔靜精易

屬辭比事同子ヲ以シクラテ

春秋教ニタテヲアワスシ

不能節其也ヒヨウニハツレシ

失誣也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

易之失賊也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

深信也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

夫在時也

凡而雨之也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

載神氣也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

雷而也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

信而也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

象也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

山也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

法也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

格也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

酬也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

目巧也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

巧目也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

經也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

階也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

由此也トフコシエルカ書ヲダシクヲリ

互言之 三老バカリデナジニ其モ
野知之 フルクニナレテキタ

奉中 正 以爲 中ノヨ正モシモナシキニク心ノヲナ

五廟 教トキイトヒキイト

彭氏家訓

東國三十三國の
西國三十三國の
仁靈 カイトモノモ用ル

礼記 義ノ及テ

自稱 父ノ名ヤノ登リカニシテ

異 ヨコタテニシテモシニハアハタカアル

煩 ノウナニキイロイホク

勤 テハセハ 静 冬ノトハ 静 ニヒラクシ
バヤケト静 テイレバ

タゴ アマノ ハシタテ
イニウ 廣 崎

其 ハレツ ナレヤウテ
ニライリ

征伐 軍ノ 法 セハ ヤクシ フ ナニヤニユエ
コトノ ヨウ ニナラニヤスルシ

坤 之 美 ヒタル ヲウ コノ ノ ヨリ
人 ニモ ガ レニ モ テ キ ニ シ

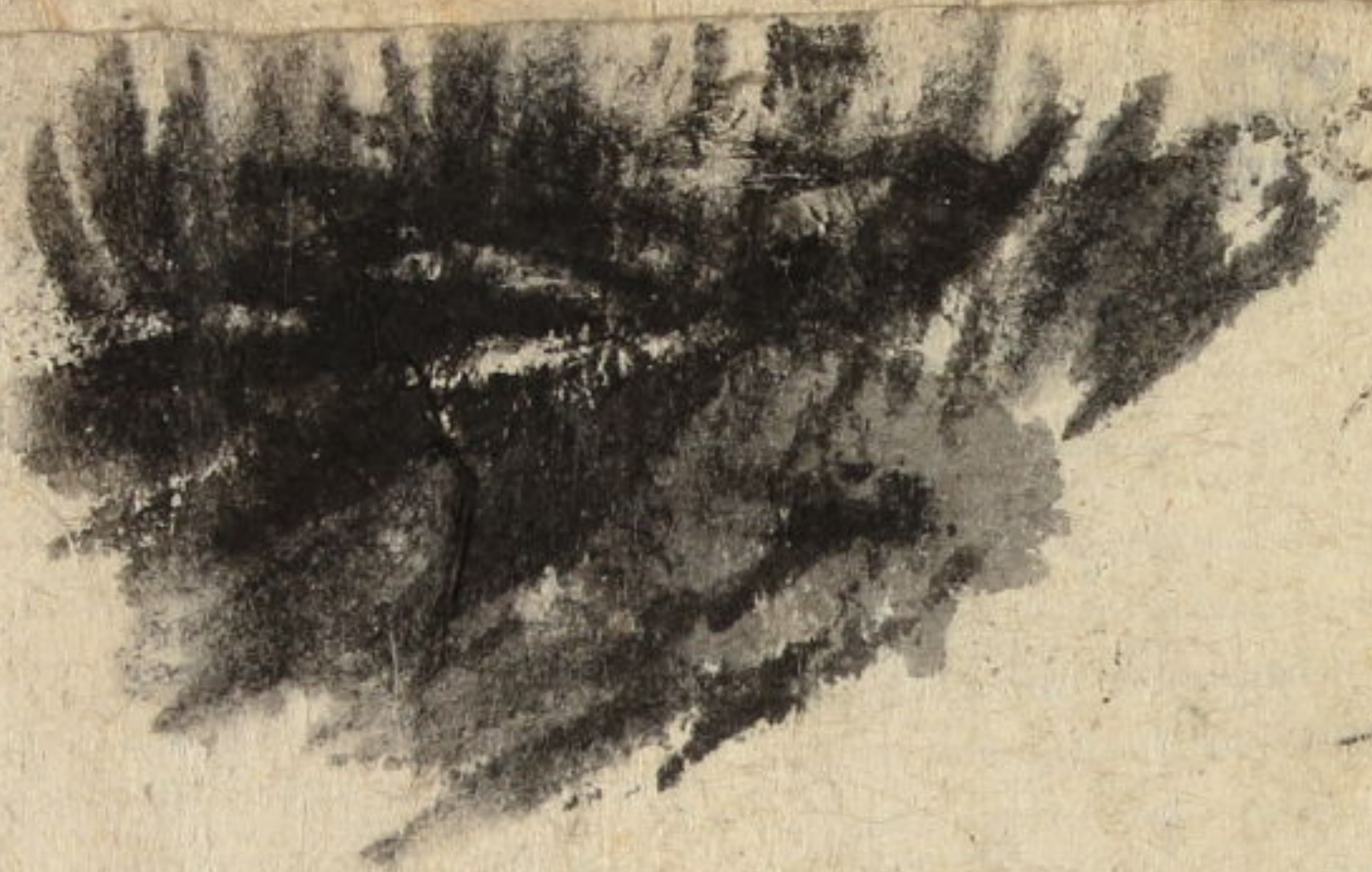
空 カ ヲ タ ヲ
モリ

顯 オ ヒ ナ リ
ア タ グ

カ ニ リ ホ ツ イ

カ エ ヲ カ ヲ

カ イ ス オ ナ イ ラ ト ナ シ



静 カ ヲ カ ヲ

カ ニ リ ホ ツ イ

カ イ ス オ ナ イ ラ ト ナ シ

